

3年

	<ul style="list-style-type: none"> ①学習指導に関する現状と課題を書きます。 ②具体的な授業改善策を書きます。 ③補充・発展的な学習指導の計画を書きます。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ①文学的文章・説明的文章共に、記述を根拠にして自分の考えをもつことができるようになってきている。一方で文章を書くことに課題が見られるため、読解力がまだまだ定着していないことが判明した。また、漢字の知識の定着にはかなり個人差が見られる。 ②読解の手順を習得させ、文章構成を捉えられるように指導を行う。また、考えを共有する時間を確保し、考えの視野を広げられるように声をかける。漢字は単体でなく、言葉（単語）で覚えるように指導をする。 ③漢字の習得のために、小テスト前の練習回数を増やすとともに、間違えた問題の直しと再テストの実施を徹底する。また、読書に親しむ時間を確保し、言葉や文章に親しみ、慣れるようにする。
検証	<p>説明文における「はじめ・中・おわり」、物語文における「起承転結」や「問いと答え」などを文章全体から捉える力を身に付けることができた。また、2学期より作文を開始したところ、授業で学んだ段落構成（はじめ・中・おわり）を意識して書く児童がとて多かった。漢字は小テスト前の練習や直しを徹底したことで点数の向上が見られたが、家庭学習の取り組みの違いが点数の差となって表れてきているため、今後も知識を定着できるような手立てを講じていく。</p>
社会	<ul style="list-style-type: none"> ①初めての学習内容に興味・関心は高いが、方位や地図記号などの知識が定着していない児童が多い。地図から情報を読み取ることができない児童や調べたことをもとに自分の考えを書いたり、まとめたりする活動が苦手な児童もいる。 ②生活と結び付いているスーパーマーケットや畑の見学をして、より地域を理解できるようにしていく。調布市や学区の地図で、位置を確かめることを学習の中で繰り返し指導する。 ③見学してまとめたことを発表する活動を増やす。自分の考えをしっかりと持ち、表現していくことの大切さを指導していく。
検証	<p>理科の授業と関連付けて方角や方位磁針の知識を身に付けることができた。また、社会科学の際には、既習事項を踏まえた見学のめあてを設定することで、目的意識をもって臨むことができた。振り返りに行った新聞作り等のまとめ学習では、見学して学んだことだけでなく、考察を書いてより深めることができた。</p>
算数	<ul style="list-style-type: none"> ①学習の定着に個人差が大きい。九九やたし算・ひき算の筆算など、既習事項が定着していない児童もおり、個別指導が必要である。 ②ノート指導を重視し、まず課題を視写し、自分の考え、友達の考え、まとめというノートのパターンを身に付けさせる。基本的な計算力を高めるために、ドリルやドリルノートを活用して、繰り返し計算練習に取り組ませる。自分の考えを友達の前で発表したり、交流したりする機会を多く設ける。 ③考えを全体で共有し、友達の考えを理解し、自分で説明できるようにする。友達の考えの良いところ、自分の考えと同じところや違うところなどを見付けられるようにする。
検証	<p>ノート指導に力を入れた結果、単元の終わりの時期に今までの学習を振り返って演習に取り組むことができ、評価テストの点数を上げることができた。また、どのクラスにおいても答えだけでなく、その過程を説明する活動を取り入れたことにより、お互いの考えを交流して学びを深めることができた。</p>
理科	<ul style="list-style-type: none"> ①意欲的に学習に取り組み、実験や観察のときは集中して取り組むことができている。今後は課題設定から考察に至るまでの思考の流れを定着させる必要がある。 ②児童の経験・体験や既習知識の思考のズレから問題設定をし、予想と理由→実験方法→結果の見通し→実験と結果→まとめ→考察の流れを定着させるために学年で揃えて授業を行ったり、色分けをしたりして意識化させていく。 ③児童の興味・関心を継続させるために、理科に関する情報を紹介したり、身の回りの事象と理科の学習内容をつなげて考えられたりできるようにする。
検証	<p>単元の導入時に今までの経験を振り返らせたり、体験活動を行ったりした結果、そこから問題を設定して予想と理由を考えることができるようになった。また、上述した思考の流れも板書や色遣いを工夫することで、児童にも定着させることができた。</p>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ①楽しく意欲的に学習に取り組み、のびのびと表現できる児童もいる一方で、表現することがあまり得意でない児童もいる。発言する児童も限られている。リコーダーは息の入れ方や運指、タンギングが、練習量が足りないためにまだうまくできない児童もいる。持ち方が、左右の手が逆になる児童がいる。 ②グループやペアでの活動を増やし、一人ひとりが活躍できる時間をとる。リコーダーはできるだけ毎回取り組み、継続的に1グループずつの発表を行う。姿勢・運指・タンギングなどの基礎基本を毎回意識させて定着を図る。 ③個別指導が必要な場合は休み時間等に練習時間を設ける。
検証	<p>グループやペアで友達と学び合うことにより、リコーダーの音色に気を付けたり運指を教え合ったりして主体的に取り組むことができ、楽しみながら基礎基本を定着させることができた。</p>
図工	<ul style="list-style-type: none"> ①意欲的に制作している児童が多いが、意欲や技術的な面でかなりの差が見られる。 ②担任と情報交換をしながら児童理解に努め、規律指導も行いながら安全に楽しく授業が進むように取り組んでいく。 はさみ等日常で使う道具から、工具まで繰り返し基本的な指導を行い、道具に慣れていくようにする。 ③休み時間、朝や放課後などの時間を使って少人数での指導を行う。
検証	<p>様々な創作活動に意欲的に取り組んでいる。また、片付け等協力して行う様子も見られている。発想面や技術面で苦手意識をもつ児童もいるので、引き続き個人のペースに合わせながら、指導を行っていく。</p>

<p>体育</p>	<p>①意欲的に体育の学習に取り組もうとする児童が多いが、安全面を考慮しながら体育の学習に取り組むことを指導することが必要である。技能面では個人差が大きく、様々な動きやルールのあるゲームの経験が少ない。</p> <p>②児童に合わせて、場の設定をし、チームで創意工夫をする思考力についてグループを組んで練習させ、お互いの技を見合ったり教え合ったりすることで、苦手な児童でも楽しく運動できるようにする。学習カードを活用して、それぞれの児童が自分のめあてをもてるようにする。また、運動の特性を味わわせ、ルールを意識してボールゲームができるように指導する。</p> <p>③休み時間の外遊びで意欲的に体を動かして、いろいろな運動に親しむことができるようにする。</p>
<p>検証</p>	<p>グループを組んで練習する活動を多く取り入れることで、お互いの考えを交流して学びを深めることができた。学習カードを活用して自分自身のめあてをもち、意欲的に体を動かし、運動に親しむことができた。</p>